

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.278-279 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業
2. 目標
 - (1) 北海道で生産が盛んな農産物と漁獲量の多い水産物を理解できる。
 - (2) 北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由について、自然環境との関わりから考察し、説明できる。

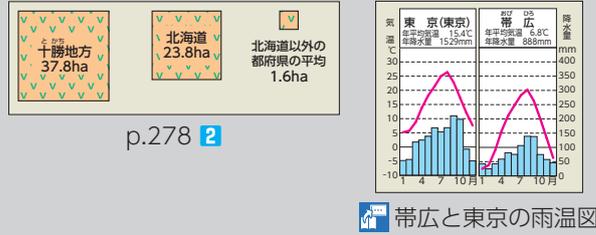
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・北海道の生産量が全国の上位を占める主な農産物と水産物を理解している。
思考・判断・表現	・北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由を、冷涼な気候や沖合の海流を踏まえて考察し、説明している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)												
導入	<p>1. 「広大な畑が広がる十勝平野」を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 北海道で生産が盛んな農産物の共通点を予想し、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>p.278 1 (上)</p> <p>写真から読み取れることを挙げてみよう。</p> <table border="1"> <tr> <td>てんさい 361.1万t</td> <td>北海道 100%</td> <td>長崎 4.1</td> </tr> <tr> <td>じゃがいも 226.0万t</td> <td>北海道 77.1%</td> <td>その他 14.5%</td> </tr> <tr> <td>小麦 76.5万t</td> <td>北海道 61.6%</td> <td>福岡 7.2% その他 31.2%</td> </tr> <tr> <td>生乳 728.9万t</td> <td>北海道 54.4%</td> <td>栃木 4.5% その他 41.1%</td> </tr> </table> <p>p.278 3</p> <p>資料の農作物の共通点を考えてみよう。</p>	てんさい 361.1万t	北海道 100%	長崎 4.1	じゃがいも 226.0万t	北海道 77.1%	その他 14.5%	小麦 76.5万t	北海道 61.6%	福岡 7.2% その他 31.2%	生乳 728.9万t	北海道 54.4%	栃木 4.5% その他 41.1%	<p>○ 「広大な畑が広がる十勝平野」から読み取れることを挙げさせながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ 北海道でとれる農産物で、生産量が全国の上位を占めるものを資料から確認させ、その共通点を予想させる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p>
てんさい 361.1万t	北海道 100%	長崎 4.1													
じゃがいも 226.0万t	北海道 77.1%	その他 14.5%													
小麦 76.5万t	北海道 61.6%	福岡 7.2% その他 31.2%													
生乳 728.9万t	北海道 54.4%	栃木 4.5% その他 41.1%													
<p>学習課題：北海道で、畑作や酪農、漁業が盛んになったのはなぜだろうか。</p>															
展開	<p>3. 十勝平野や北見盆地で畑作が盛んになった背景を理解する。</p> <p>(1) 十勝平野で栽培が盛んな農産物</p>	 <p>p.278 1 (右)</p> <p>十勝平野と北見盆地の場所を確認してみよう。</p> <p>じゃがいものほかに十勝平野で栽培が盛んな農産物を挙げ、その共通点を考えてみよう。</p>	<p>○ 学習プリントを活用し、十勝平野と北見盆地の位置を確認させる。</p> <p>○ 十勝平野で栽培が盛んな農産物を挙げさせ、その共通点を考えさせる。</p> <p>◆ じゃがいもやてんさい、小麦、豆類など、寒さや乾燥に強い農産物の生産が盛んなことに気付かせる。</p> <p>○ 十勝平野の自然環境の特色をまとめさせる。</p>												

(2) 十勝平野の自然環境



p.278 2

十勝平野の自然環境の特色をまとめてみよう。

(3) 人々の工夫

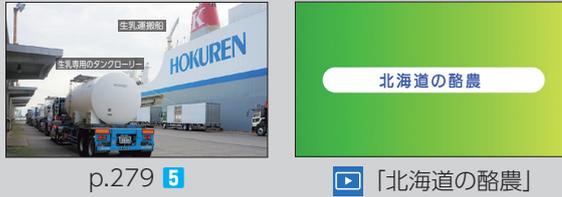
厳しい自然環境の中で、多くの農産物を生産できるのはなぜだろうか。



p.270 4

p.279 4

根釧台地が酪農の一大産地となったのは、どのような背景からなのか考えてみよう。



p.279 5

「北海道の酪農」

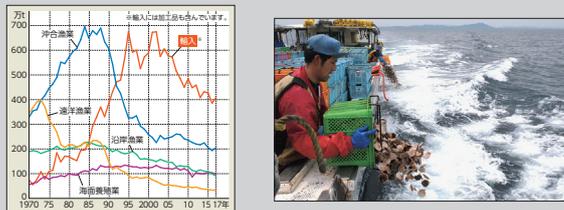
酪農にとって、輸送技術の進歩はどのような意味をもつのだろうか。



p.271 5

p.279 7

なぜ北海道で漁業が盛んなのだろうか。



p.159 5

p.279 6

北海道の漁業の変化をまとめてみよう。

4. 根釧台地では酪農が盛んになった背景を理解する。

5. 北海道の漁業の特色や変化について理解する。

○ 十勝平野の自然環境の特色をまとめさせる。

◆ 1戸あたりの耕地面積が広いが、火山灰が堆積して栄養分が少ないことや、気温が低くて降水量が少ないことに気付かせる。

◆ 土壌の改良や輪作などの工夫を行ってきたことを理解させる。

○ 学習プリントを活用し、根釧台地で酪農が盛んになった理由をまとめさせる。

○ 雨温図コンテンツを活用し、釧路の8月の気温と東京の5月の気温がほぼ同じであることを補足する。

◆ 資料から、広い土地、涼しい気候、大型機械の導入、輸送技術の進歩などのポイントを見いださせる。

○ 北海道で漁業が盛んな理由を考えさせる。

◆ 北海道は、三つの海に囲まれていることや、プランクトンが豊富な親潮が近海を流れていることを理解させる。

○ 学習プリントを活用し、漁業の変化についてまとめさせる。

◆ 日本の漁獲量と輸入量の変化の資料から、とる漁業から育てる漁業に転換してきていることに気付かせる。

展
開

6. 本時のまとめをする。

北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由について説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ 北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由について、北海道の自然環境の特色と人々の工夫に着目して説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。

整
理